

出題の趣旨

問1

国民主権という観点から選挙は重要な制度と考えられるところ、経済学者である筆者は経済的な合理性の観点からすると、選挙をしても正しい民意が反映されるとは限らないと問題提起する。これに対しては、候補者の競争と集計の奇跡という観点から民意が反映されるとの反論がある。このような考え方の違いを正確に理解するという読解力を試し、さらに、これを500字以内で簡潔にまとめさせることで、文章の構成力を試す趣旨の設問である。

問2

筆者の問題意識が高齢化社会におけるシルバー民主主義にあることを簡単に示すことで読解力を試し、さらに、本文中の世代別選挙区、ドメイン投票制に対する筆者の説明を参考にしつつ、自らの見解を説得的に論じることができるかという観点から、論理的思考能力及び文章作成能力を測る趣旨の設問である。